

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 有限会社大泉日伯センター（日伯学園）

1 事業の趣旨・目的

この取組は、教育するもの、されるもの双方に大きな意義をもつ。特に、ブラジル人学校全日制で学んだ青年は、現在もポルトガル語を第一言語としながら、よりレベルの高い日本語習得を目指す「学習者」でもある。彼らが「学習者」としての立場を超え、この教室で「講師」となって初級の日本語を教えることにより、自身の日本語の基礎をより確実なものにすることができる。また、この教室の受講対象者である小学生年齢相当の日本語初級学習者にもより身近な存在であり、彼らを具体的な「モデル」として学習に取り組むことができる。日本語学習を早期に始めることは、日本への定住傾向や国境間を複数回移動する在日ブラジル人の生活パターンと照らし合わせると、ぜひとも取り組むべき課題である。特に、漢字検定への挑戦を教室の課題としたい。漢字の習得は、日本の文化を理解する一助となるからである。ちなみに、当学園は漢字検定試験の準会場の資格を取得しているため、受験者の交通費などの負担はほとんどない。そして、今後も続くであろう、地域のブラジル人居住者の日本語学習需要に対応できる日系人教育者の層を拡大することも事業の狙いの一つである。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
9月26日	NPO 会議室	野山 広 拝野 寿美子 江副 隆秀 高野 祥子 中西 ともみ 戸澤 順	・ 事業の中間報告 ・ 前半の反省点と課題の洗い出し ・ 後半に向けての授業内容の確認	・ 各議題について、コーディネーターからの説明を受けた後、出席者相互の質疑応答や意見交換を行った。

【写真】



3 日本語教室の開催について

① 講座名

ブラジル人先輩から学ぶ「初めての日本語」夏期子供向け漢字検定講座

② 開催場所

日伯学園西邑楽校舎

③ 学習目標

受講者のレベルに合わせたひらがな・カタカナ・漢字の習得（漢字検定に向けての学習）

④ 使用した教材・リソース

学校法人新宿日本語学校 江副式教材、アリアンサ・ブラジル・ジャパオン、ストーリーで覚える漢字 300、白川静博士の漢字の世界

⑤ 受講者の募集方法

募集パンフレット及びチラシ

⑥ 受講者の総数 21 人（出身・国籍別内訳 ブラジル国籍21名）

⑦ 開催時間数（回数） 35 時間 （全 35 回）

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語（人）	教授者・補助者人数	内容
①	8月11日 15:45~16:45	1時間	21人	ブラジル国籍・ポルトガル語(21人)	教授者4人 補助者2人	ぬりえ一、二、三、にほんごでかきましよう
②	8月12日 15:45~16:45	1時間	21人	ブラジル国籍・ポルトガル語(21人)	教授者4人 補助者4人	ぬりえ一、二、三、にほんごでかきましよう
③	8月22日 15:45~16:45	1時間	21人	ブラジル国籍・ポルトガル語(21人)	教授者5人 補助者2人	江副文法『じゅうばこ1』
④	8月23日 15:45~16:45	1時間	21人	ブラジル国籍・ポルトガル語(21人)	教授者5人 補助者2人	江副文法『じゅうばこ1』
⑤	8月24日 15:45~16:45	1時間	21人	ブラジル国籍・ポルトガル語(21人)	教授者5人 補助者2人	江副文法『じゅうばこ1』
⑥	8月25日 15:45~16:45	1時間	21人	ブラジル国籍・ポルトガル語(21人)	教授者4人 補助者4人	ぬりえ一、二、三、にほんごでかきましよう
⑦	8月26日 15:45~16:45	1時間	21人	ブラジル国籍・ポルトガル語(21人)	教授者4人 補助者4人	ぬりえ一、二、三、にほんごでかきましよう
⑧	8月29日 15:45~16:45	1時間	21人	ブラジル国籍・ポルトガル語(21人)	教授者5人 補助者2人	江副文法『じゅうばこ1』
⑨	8月30日 15:45~16:45	1時間	21人	ブラジル国籍・ポルトガル語(21人)	教授者5人 補助者2人	江副文法『じゅうばこ1』

⑩	8月31日 15:45-16:45	1時間	21人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(21人)	教授者5人 補助者2人	江副文法『じゅうばこ1』
⑪	9月1日 15:45-16:45	1時間	21人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(21人)	教授者4人 補助者5人	ぬりえ一、二、三、にほん ごでかきましょう
⑫	9月2日 15:45-16:45	1時間	21人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(21人)	教授者4人 補助者5人	ぬりえ一、二、三、にほん ごでかきましょう
⑬	9月7日 15:45-16:45	1時間	21人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(21人)	教授者5人 補助者2人	江副文法『じゅうばこ1』
⑭	9月8日 15:45-16:45	1時間	21人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(21人)	教授者4人 補助者3人	ぬりえ一、二、三、にほん ごでかきましょう
⑮	9月9日 15:45-16:45	1時間	21人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(21人)	教授者4人 補助者6人	上毛カルタでカルタ取り
⑯	9月14日 15:45-16:45	1時間	21人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(21人)	教授者4人 補助者2人	江副文法『じゅうばこ1』
⑰	9月15日 15:45-16:45	1時間	21人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(21人)	教授者4人 補助者5人	アリアンサ(新日本語初 級)
⑱	9月16日 15:45-16:45	1時間	21人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(21人)	教授者4人 補助者5人	アリアンサ(新日本語初 級)
⑲	9月21日 15:45-16:45	1時間	20人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(20人)	教授者4人 補助者3人	江副文法『じゅうばこ1』
⑳	9月22日 15:45-16:45	1時間	19人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(19人)	教授者4人 補助者5人	アリアンサ(新日本語初 級)
㉑	9月28日 15:45-16:45	1時間	20人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(20人)	教授者4人 補助者3人	江副文法『じゅうばこ1』
㉒	9月29日 15:45-16:45	1時間	19人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(19人)	教授者4人 補助者5人	アリアンサ(新日本語初 級)
㉓	9月30日 15:45-16:45	1時間	19人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(19人)	教授者4人 補助者5人	アリアンサ(新日本語初 級)
㉔	10月5日 15:45-16:45	1時間	19人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(19人)	教授者4人 補助者3人	江副文法『じゅうばこ1』
㉕	10月6日 15:45-16:45	1時間	20人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(20人)	教授者4人 補助者5人	ストーリーで覚える漢字 300、白川静博士の漢字の 世界
㉖	10月7日 15:45-16:45	1時間	20人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(20人)	教授者4人 補助者5人	ストーリーで覚える漢字 300、白川静博士の漢字の

						世界
㉓	10月12日 15:45-16:45	1時間	19人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(19人)	教授者4人 補助者3人	江副文法『じゅうばこ1』
㉔	10月13日 15:45-16:45	1時間	19人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(19人)	教授者4人 補助者5人	ストーリーで覚える漢字 300、白川静博士の漢字の 世界
㉕	10月14日 15:45-16:45	1時間	20人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(20人)	教授者4人 補助者5人	ストーリーで覚える漢字 300、白川静博士の漢字の 世界
㉖	10月19日 15:45-16:45	1時間	19人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(19人)	教授者4人 補助者3人	江副文法『じゅうばこ1』
㉗	10月20日 15:45-16:45	1時間	19人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(19人)	教授者4人 補助者5人	ストーリーで覚える漢字 300、白川静博士の漢字の 世界
㉘	10月21日 15:45-16:45	1時間	19人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(19人)	教授者4人 補助者5人	ストーリーで覚える漢字 300、白川静博士の漢字の 世界
㉙	10月26日 15:45-16:45	1時間	19人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(19人)	教授者4人 補助者3人	江副文法『じゅうばこ1』
㉚	10月27日 15:45-16:45	1時間	19人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(19人)	教授者4人 補助者5人	ストーリーで覚える漢字 300、白川静博士の漢字の 世界
㉛	10月28日 15:45-16:45	1時間	19人	ブラジル国籍・ ポルトガル語(19人)	教授者4人 補助者5人	ストーリーで覚える漢字 300、白川静博士の漢字の 世界

㉜ 特徴的な授業風景（2～3回分）



4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

当初予想していたよりも初習者が多かったため、漢字能力検定受検までには至らなか

った。しかしながら、各自のレベルに合わせつつも、受講者全員のひらがな・カタカナの習得は完全なものとする事ができた。ただ、教室終了日が当初よりも遅くなり、また、震災の影響で、休日に子どもたちを外出させることへの保護者の懸念が大きかったため、今年度の第二回漢字能力検定受検には至らなかった。

受講者の先輩にあたる講師及び講師補助を担当した学園生や卒業生も受講者たちの学習成果を見届けることで達成感を持つことができた。カリキュラムを最後までやらせていただいたことで、今後の教室設置にむけた再スタートを既に切ることができている。

② 学習者の習得状況

授業終了までのラスト2週間は講座の締めくくりの時期でもあり特に漢字学習を集中的に行ったことで、受講生のひらがなおよびカタカナの習得だけでなく漢字の学習にも一定の成果を出すことができた。この漢字学習に入れたことにより、12月に行われる本年度第2回目の日本語能力試験受験や第3回漢字能力検定を決意した受講者も出てきている。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

この教室は複数年に渡って委託を受けている。こうした取り組みによって漢字能力検定の会場としても認められている。この伝統を絶やすことなくより発展的なものするための土台を今回の設置で更に強固なものにすることができた。今回の受講者の何人かは、来年度の日本語教室では講師補助になりたいといった希望を持つようになっている。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

③にも関連するが、当受託団体は地域の日本語教育関係者や受益者（在日外国人）に「あそこに行けば日本語を学ぶことができる。漢字検定を受けることができる」と広く認知されている。当日本語教室で連携している「地域の関係者」はすなわち地域における次世代の日本語教育を担う講師や講師補助たちである。つまり、この教室を通して地域における日本語教室や多文化共生のリーダーを育成している点が将来展望、あるいは長期的な視野に立った際の最大の成果であると考えている。さらに、このような若者を育てるために彼・彼女らに関わる日本人（地域）の大人が少しずつ増えていることを付け加えておきたい。

⑤ 改善点、今後の課題について

a. 現状

教室開始が当初の見込みより遅れたことにより、貴庁をはじめ受講者や講師・講師補助にも迷惑をかけてしまったことについて、まずは深くお詫びをしたい。それによってタイトなスケジュールとなり、受講者が自宅などで十分な予習復習をする時間をとることができなかつた恐れがある。また、予想していたよりも受講者の日本語力が低かつたこともあり、ひらがな・カタカナ学習におもいのほか時間がかかつた。

b. 今後の課題

上記の現状に照らし合わせ、もうすこし余裕をもつたスケジュールを立てるよ

う心がけたい。しかしながら、集中的に日本語に取り組むことができたという利点もあった。受講者が年少であることやブラジル人が中心であることから、今回のようにポルトガル語と対照させながら教えるにあたり高い評価を得ている教材をうまく組み合わせつつ、受講者に飽きさせないような工夫をしていきたい。

c. 今後の活動予定，展望

来年度以降も同内容の教室設置を考えている。当団体の日本語教育に関する良き伝統を絶やさないためにも、また、2012年3月には、2009年3月から開始された日系人向けの帰国支援事業で帰国したブラジル人たちが3年という期限を終えて再び来日する可能性があり、子どもたちを帯同した場合、日本語の学び直しの必要性があることから、継続的な教室設置が重要であると考ええる。